

授業科目 NO.304 精神保健看護学概論

Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 2単位（30時間）

開講年次・学期： 1年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 精神保健にとって重要な心の働きの発達、睡眠、脅威（ストレス、災害、事故）、コーピング、危機、自殺、一次予防、権利擁護、リエゾン精神看護

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

個々の健康をより良く保つために、必要な知識として、成長発達の各段階で獲得する精神機能（情動調整・コーピング・防衛機制を含む）について学修する。そして、精神的健康状態を脅かす状況（社会環境・災害や事故）について学び、不調の進展を防止する援助技術を学修する。

さらに、精神障害者にとっての権利とは何か、精神科看護師はどのように患者の権利を尊重し擁護することができるのかを考える。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 精神の健康について説明できる。(②)
- (2) ストレス反応や精神的危機、精神的危機への対処方法を説明できる。(②)
- (3) 成長発達の過程で生じる精神的諸問題に対して、個人が周囲の人との関わりを通して、どのように問題と向き合い、どのように人格的に成長していくのかを説明できる。(②)
- (4) 日本の精神保健活動としての自殺予防、ひきこもり支援を説明できる。(①②③)
- (5) 災害時の精神保健活動を説明できる。(①②③)
- (6) 日本社会における精神障害をもつ人を取り巻く状況の変化を説明できる。(①②③)
- (7) 精神障害をもつ人の権利を尊重し、擁護するための看護職としての態度・姿勢について考察し、自分の意見を述べるができる。(①②③)
- (8) 睡眠と覚醒のリズムを調節するメカニズム、精神的健康を保つための睡眠習慣や生活行動を説明できる。(②)
- (9) 労働者および看護師に対する精神保健活動を説明できる。(②③)
- (10) 精神状態が身体状態と相互関係を説明できる。(②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	90%
授業態度	%
小テスト	10%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：長山 豊

准 教 授 長山 豊 (精神看護学)
 准 教 授 大江 真人 (精神看護学)
 講 師 新井 里美 (精神看護学)
 非常勤講師 別宗 利哉

6 教 科 書

- 1) 武井麻子編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 1 精神看護の基礎、医学書院、2021.
- 2) 武井麻子編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 2 精神看護の展開、医学書院、2021.

7 推 薦 参 考 書

各授業で紹介する。

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要です。

教科書の該当箇所や関連する情報を主体的に調べて授業に臨むこと。

第1回：精神看護学1 p24-30 精神の健康とは

第2～3回：精神看護学1 p31-38 心身の健康に及ぼすストレスの影響
 P79-90 人格、自我の構造、自我の防衛機制

第4～5回：精神看護学1 p91-113 対象関係論、アイデンティティ、愛着、自己愛、甘え
 P131-141 集団と個人、グループのダイナミクス

第6回：精神看護学2 p324-331 自殺

厚生労働省の自殺対策に関する情報をまとめたホームページ「まもろうよ ころろ」

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

第7回：厚生労働省の引きこもり支援に関する情報をまとめたホームページ「ひきこもり VOICE STATION」

<https://hikikomori-voice-station.mhlw.go.jp/>

第8回：精神看護学2 p374-388 災害時のメンタルヘルスと看護

第9～10回：精神看護学1 p 298-322 日本における精神医学・精神医療の歴史

第11回：日本障がい者サッカー連盟（JIFF） ソーシャルフットボール(精神障がい)

<https://www.jiff.football/>

第12回：精神看護学2 p278-282 睡眠とそのケア

第13回：精神看護学2 p187-194 職場におけるメンタルヘルスと精神看護

第14回：精神看護学2 p391-411 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス

第15回：精神看護学1 p60-64 感情と身体・理性・社会

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出されたレポートについてコメントによりフィードバックを行う。

10 履修上の注意事項

- 1) 授業内容に対する疑問・質問等は、積極的に行いましょう。授業中、または、授業後に担当教員と積極的に話し合うことで、学修内容を深めることができます。
- 2) 授業中に学生間で意見交換する際には、限られた時間を有効に活用できるよう主体的に話し合い、学生同士で協力し合って、課題に取り組みましょう。

11 オフィスアワー等

質問は随時受け付けますが、事前にメール等で連絡してください。

長山 (naga-y@kanazawa-med.ac.jp)

新井 (s-arai@kanazawa-med.ac.jp)

大江 (oemasato@kanazawa-med.ac.jp)

第1学年

精神保健看護学概論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月04日(水)	3	講義	精神が健康であるとは、どのような状態なのか	レポート	精神看護学	長山准教授
後	2	10月11日(水)	3	講義	ストレス、精神的危機		精神看護学	長山准教授
後	3	10月18日(水)	3	講義	ストレスへの対処、防衛機制	レポート	精神看護学	長山准教授
後	4	10月25日(水)	3	講義	ライフサイクルにおける人格の発達:自立と依存		精神看護学	長山准教授
後	5	11月01日(水)	3	講義	ライフサイクルにおける人格の発達:集団と個人	レポート	精神看護学	長山准教授
後	6	11月08日(水)	3	講義	社会における精神保健活動:自殺予防	レポート	精神看護学	長山准教授
後	7	11月15日(水)	3	講義	社会における精神保健活動:ひきこもり支援	レポート	精神看護学	長山准教授
後	8	11月22日(水)	3	講義	災害時の精神保健活動	レポート	精神看護学	長山准教授
後	9	11月29日(水)	3	講義	日本社会における精神障害をもつ人を取り巻く状況の変化		精神看護学	長山准教授
後	10	12月06日(水)	3	講義	精神障害をもつ人の権利は、守られているのか	グループワーク、レポート	精神看護学	長山准教授
後	11	12月13日(水)	3	講義	特別講師招聘講演 精神障害をもつ人とスポーツ:ソーシャルフットボール	レポート	精神看護学	別宗非常勤講師, 長山准教授
後	12	12月20日(水)	3	講義	睡眠と健康	小テスト	精神看護学	新井講師
後	13	1月10日(水)	3	講義	働く人のメンタルヘルス支援	レポート	精神看護学	大江准教授
後	14	1月17日(水)	3	講義	看護師のメンタルヘルス支援		精神看護学	長山准教授
後	15	1月24日(水)	3	講義	心と身体の相互関係、まとめ		精神看護学	長山准教授